

謹賀新年



根羽事務所 門松班製作の注連縄を納入

下伊那西部シルバー便り

H23. 1. 5
No.5

発行
（株）下伊那西部
シルバー人材センター
印刷
龍共印刷（株）

年頭挨拶

理事長 福岡昭一

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに平成二十三年の初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

下伊那西部シルバー人材センターが発足して二年余が経過しました。当センターも、昨年一年間厳しい環境の中にあつて、会員皆様のご尽力によりまして当初の計画を上回る実績で推移しており、年度末には年間の就業件数、契約高とも大幅に伸びる見込みであります。

これも会員皆様の仕事ぶりが地域から信頼されている結果であり、大変ありがとうございます。

しかし、シルバー人材センターをとりまく状況は大変厳しい現実となっております。一昨年の国の行政刷新会議の「事業仕分け」第一弾ではシルバー人材センターに対する国の補助金を三分の一程度削減するという取まとめがされてきて、心配しておりましたが、結果は国、村とも前年並みの補助金をお願いすることができまして、ほっとしていたところでありましたが、昨年の再仕訳けでは、第一弾の評価結果を確実に実施するという評価が出されました。

これは当センターのような小規模なセンターにおきましては大変深刻な問題でありまして、昨年の十二月には国の削減が行なわれても、村からの補助金は従来通りの支援を各村長、議長に要請をして来ました。

阿智村、平谷村、根羽村の各村長、議長さんには私達のシルバー人材センターの意義、重要性をご理解いただけるものと信じております。

会員の皆様、お正月を迎えまた一つ年を重ねましたが健康に留意して、働く喜びと生きがいを実現し、今年も元気で頑張りましょう。

事業仕分け第三弾

シルバー支援の要望署名活動

一昨年十二月の事業仕分けにおいて、シルバー人材センター援助事業の補助金を縮減との取りまとめがされましたが、その結果の検証を行う事業仕分け第三弾が昨年十一月十五日に行われました。これは前回の取りまとめが三分の一程度の縮減としたものの二十二年予算が十六・二%減に留まっているとして再仕分けの対象になったものです。

予算編成にあたって厚生労働省当局は、厳しい経済環境の中シルバーの受注や会員の収入も減少していることから、会員である高齢者に過度の負担をかけないように配慮して、数



民主党へ要望活動

年かけての縮減を検討していくとしたもので、二十三年度は更に四・八%減とした概算要求をしています。

しかし、事業仕分け評価者の評価は、第一弾の評価結果が反映されていないと厳しく、間接コスト、人件費に注目して、直ちに第一弾の評価結果の確実な実施を求められました。

これが実施された場合には、今日でも大変厳しい運営を強いられ、これ以上補助金が削減されることになれば、センターの機能の低下、ひいては会員の就業機会の喪失につながり、自立した活動の維持が困難になります。

県連合会では民主党長野総支部連合会あてに、「高齢者が安心して暮らせる社会を実現するために、シルバー人材センターの支援の要望」署名を提出して、概算要求どりの予算確保を要望することとし、十一月から十二月にかけて理事・地域班長さんを経由して署名活動を展開しました。短期間ではありましたが、会員はじめ家族、近隣の方々にご協力をいただき九八八名分の署名を県連合会に提出しました。

県連合会では十二月十五日に、県下からの三万三五五五名の署名簿を

民主党県連へ提出し、中央への速やかな伝達と強力な支援をお願いしました。

三村長への要請

昨年度の国の事業仕分けにおいて、補助金が削減され、今年においても再仕分けの中でさらに補助金が削減されるということで、当センター構成三村長に、各村からの補助金については、前年度並みの補助をしてくださるよう申し入れをしました。

各村長さんも年末で忙しい中、時間を割いていただき、理事長名の要望書と県連合会長のお願い文を提出しました。根羽村へは十二月六日に正副理事長はじめ四名で訪問、阿智村長と平谷村長には、八日に訪問しました。広域化二年目の実績が昨年を上回る状況で推移していること、各村内の受注内容等を説明し、どの村でも高齢化が進む中、自宅周辺はじめ、田畑・山林等の管理に苦慮されており、これからますますシルバー人材センターの果たす役割は大きくなる現状を説明しました。一方で補助金の減額により組織の運営が立ち行かなくなる現状の中、今まで以上の行政の支援をお願いし、併せて公共からの発注の拡大についても要望しました。これに対し今後引き続き同様の支援をしていくこと、公共からの発注についても前向きに



根羽村長への要請

検討くださることなど、理解ある回答をいただくことが出来ました。同様の要請は各村議長あても提出しました。

北信協の総会開催

七月十五日長野市において、北信越五県九十五シルバーで構成される連絡協議会の定期総会が百七十名ほどが出席して開催され、当センターから理事長が出席しました。

長野県がもう一年事務局を担当することとなっていますが、総会では事業報告・決算、事業計画・予算が承認されました。

総会終了後は研修会に切替えて、SBCラジオ放送でおなじみのパーソナリティの武田徹氏による、「人生もうひと花咲かせましょう」と題する講演がされました。

シルバー人材センター長野県大会開催

十月はシルバー人材センター事業普及啓発促進月間ですがその一環として、「シルバー人材センター長野県大会」が今年は十月二十一日に千曲市で開催されました。当センターは今回で二回目の参加ですが、今年も互助会の親睦旅行と合わせて二十五名が出席しました。

東信地域のシルバーが主体となつて、会場では手作り小物の販売、絵画等の作品展がロビーで行われていました。

大会は主催者あいさつに続いて、



シルバー県大会

介護予防運動指導員の小海殊一氏による「人生、健やか現役」と題する基調講演があり、加齢とは・加齢を防ぐのお話の後、実際に体を動かす頭と体の体操など、できそうに難しくできないことに参加者が挑戦し

公益法人への移行スケジュール

今年度の大きなテーマである公益法人化については、今までもその都度経過をお話してきているところ

です。本年四月一日を期して公益社団法人へ移行すべく、昨年五月の第四回通常総会において、定款、正会員会費規程の変更決議を得て、以降半年に渡つて、申請書類の作成、各種証明書の取得など準備を進めてきました。

十二月十三日の理事・監事・地域班長合同会議において、電子申請するための最終書類を提示して確認をいただきましたので、十二月十五日に申請をしました。今後は県公益認定等審議会の審議・答申を経て三月下旬に移行認定の公示、四月一日に移行の登記を進めることとなります。

今後は三月の理事会において諸規程の整備を行なうとともに、通常総会においてそれらの諸規程を確認し

ました。次いで体験発表、大会宣言で第一部の県大会は終了しました。第二部は「安全・適正就業推進大会」となり、優秀安全標語の表彰に

続いて、「安全就業のために」と題する研修、宣言と滞りなく進められて終了となりました。来年は安全就業の意識高揚のためにも多くの方が標語の応募をお願いします。

ていただき、新年度から公益法人として再スタートすることとなります。

なお、県下二十一シルバーと県連合会がそろって移行認定申請準備を行なっていますが、十二月の審議会で先行していた中野広域シルバーなど五センターが移行への答申を受けました。

第二回マレット大会開催

互助会の第二回マレットゴルフ大会は、九月十四日にワイワイ運動公園マレットゴルフ場で開催しました。遠路根羽からも七名が参加され、ホームコースとして腕に自信のある方から初心者に近い方まで、参加者は昨年より増えて二十六名で競い合いました。

結果は伍和の田中啓子さんが八一という好成绩で優勝、準優勝は宮下

英雄さん、三位は芦沢好恒さんでした。



新入会員の紹介

六月以降に入会された皆さんです。よろしくお願ひします。(敬称略)

小島 藤郎	阿智村浪合	六月
増田 和之	阿智村春日	七月
石原 安富	根羽村	八月
古田 三三夫	阿智村伍和	八月
麦島秀二郎	阿智村伍和	九月
中垣内和津子	根羽村	九月
島岡 清	阿智村春日	十月
石原 康光	根羽村	十月
石原 久栄	根羽村	十月
菅沼 春雄	阿智村智里	十一月
原 二三	阿智村駒場	十一月
宮沢 勝利	阿智村駒場	十二月
浅井加恵子	根羽村	十二月

救急救命 刈り払い機 安全講習会を開催

シルバーではおたっしやかいや水泳教室へ来られる対人関係の仕事に従事する会員を対象に、飯田広域消防署において救急救命講習会を十月二十五日に開催しました。湯つたりなプール管理等の従事者、おたっしやかい指導員・送迎運転手合わせて十七名が参加しました。救急車が来るまでの初期段階の対応によりその後の救命に大きな差が出ることなど講義を全体で受けた後、三班に分かれてマネキンを使って、胸部圧迫による心臓マッサージ、AEDの操作方法等の実技を行いました。



救急救命講習

いざという時には慌ててしまうものですが、冷静に対処できるようにこうした実技訓練が何よりも大切です。三時間の講習もあっという間に終わって、修了証を手にししました。



刈り払い機実技講習

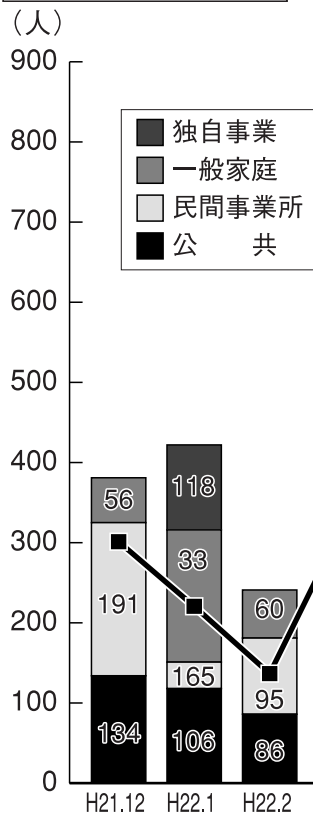
刈り払い機の安全講習は阿智及び根羽の二会場で三十六名が出席し、DVDによる映像とテキストを見ながら平沢講師の話しを最初に聞きました。シルバーの仕事で除草作業が一番多い作業ですが、回転する刃の危険性も高く、人身、損害事故とも非常に高い割合となっていることから、身支度を含めた基本動作

の徹底が大切です。
講義終了後は実技講習で、実際に草を刈りながら、回転する刈り刃の左前部三分の一を使うことによりキックバックが防げること、共同作業も

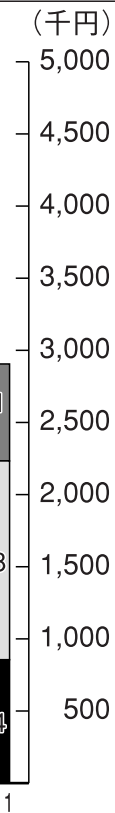
お互い5m以上の間隔をとることなど再確認しました。
また、機械の保守点検も安全作業に大事なことも学んだ講習でした。

事業実績の推移

事業区分別延日人員



事業実績金額



初めてのボランティア活動

今年度の新しい事業として、社会貢献事業を行なうこととしていましたが、九月の理事・地域班長合同会議において、十月のシルバー人材センター普及啓発促進月間を中心に、各地区に分かれてボランティア活動の具体的な検討をしました。

それぞれの地区とも多くの会員が参加されましたが、今後も地域の役に立つ、皆さんに愛されるシルバー人材センターを目指し、ボランティア活動にも積極的に取り組んでいきたいと思えます。



駒場地区 阿智PA下周辺整備



春日地区 運動公園清掃



根羽地区 しゃくなげ周辺整備



伍和地区 慰霊碑周辺整備



平谷地区 村道の草刈り



智里東地区 保健センター周辺整備

シルバー人材センター

長野県大会と旅行

井原 里美

十月二十日～二十一日と旅行があり初めて参加させていただきました。二十日の出発時、小雨模様で天気が心配でしたが車中から見ると山の紅葉を小雨が一段ときれいにしています。車中では自己紹介があり、最初は緊張気味の私でしたが誰かが面白い事を言い出し笑い絶えませんでした。

一時から長野県大会が行われる千曲市あずホールに着き指定された場所に座り現況説明や意見発表等をお聞きしました。意見発表では、お坊さんの資格を取って住職になり、シルバーで働くことに生きがいを感じていらっしゃる方が力を込めて心から喜びにあふれて発表しているのを聞いて素晴らしいと思います。就業中の事故も実例発表があり、注意しなくてはと改めて思いました。最後は地元

の女性の力強い大会宣言で終了しました。

旅館に着き各々部屋に入りお風呂に入ったりしてくつろぎました。シルバーの仲間と親しく話もでき、お酒も入り賑やかに、歌あり踊る人ありで宴会は盛りあがりました。



二十一日の朝食は昨夜の報告やら反省があり、また面白い話が出て涙の出る程笑いました。内容は…ここではちよっと書けません…。

旅館のバスに乗って上田市塩田平を観光しました。バスに乗ったとたん、昨日の長野県大会の大会宣言で盛り上がりました。ちゃんと皆覚えているのです。普通忘れてしまうのに、またまた面白おかしくて笑いま

伊那谷シルバー交流 マレット大会に参加して

山田 すみ子

伊那谷五シルバー主催で行われたマレット大会に昨年は台風のため延期となり出場できず残念でしたが、今年下伊那西部シルバーで初めて参加致しました。

九月十四日の互助会マレット大会が予選会を兼ねて開催され、伊那谷シルバー大会には上位十位までが出場しましたが、会場である阿南青年の家のコースには事前に合同練習にも行って当日に備えました。

十月五日、天候に恵まれ大勢の参加のもと開催されました。山あり谷ありとシルバー会員にはとても大変なコースでしたが、皆和気合い合いで楽しく、初めてチームを組んだとは思えない和やかな中で腕を競い

くりました。旅館の方の案内で北向観音・安楽寺・無言館・生島足島神社と観光しました。「お土産を買わないと帰れない」との声に昔ながらの味噌醸造・プリン館とセットになっっているお土産屋と酒蔵コレクショに寄り、全員無事に帰って来れました。会長さんはじめ一緒に行った皆さんお世話になりました。

合いました。伊那谷はマレットゴルフ発祥の地でこのシルバーも盛んなようですが、上位五名の合計点で順位を競いました。優勝はやっぱり会員数多い飯田シルバーでした。私達下伊那西部シルバーは準優勝でよく頑張ったと思いました。第三位は駒ヶ根伊南シルバーでした。

個人戦では宮下英雄さんが準優勝したほか、皆さん上位に入りました。他の地域の皆さんとも交流して、会員親睦の集いとしてとても良い行事だと思います。来年度は下伊那西部シルバーが当番だそうです。地元だからこそ良い成績が残せる様、今から会員の皆様の練習をお願い致します。

会員の広場

シルバーに入会して



田中 興平
(阿智村伍和)

昨年長く勤めた会社を退職し次の勤め先を色々探してみたが、時節柄なかなか思うようには見つからず、近所の草刈り等を手伝っていたところ、ある人から「シルバーに登録して自分の出来る仕事をしたらどうか」と声を掛けられ、恐る恐る申し込みをしました。

暫くして仕事の日程と内容、メンバー等が届けられ、初仕事に参加しました。入会当初は作業に対する不安、人との付き合い等少しは不安がありました。何回も共同作業をする中で大勢の人たちとも顔見知りになり、楽しく作業が出来て、この問題はすぐに解決できました。そして私は作業をするに当たり次のことを心掛けています。第一に「安全」、次に「健康」、次は「正確な仕事」、つぎに「能率」等を頭に置き

作業をします。

また、発注者の信頼を得て「次も、また次も、来年も」と言われるような作業を目標に掲げて頑張りたいと思います。

最後に、入会後の楽しみは、マレットゴルフや旅行など、年齢に関係なくお付き合いできることが一番嬉しいです。

二十一世紀の仙人



佐藤 昭三
(平谷村)

名古屋からタータンをして、八年目になります。私は田舎がいい、妻は都会が、となり健康な間は別々に、と互いに行き来はするものの、それぞれの人生を歩んでいます。

安易に山ごもりする仙人暮らしもいかなと軽い気持ちもありましたが、現代の仙人は、ヒゲもなし、杖も持たない、毎日作業服で、そして明るく人と接し、地域の力となり、何で

もできる。そんな人間が仙人かなと思っていたとき、シルバーより入会の話があり、何のためらいもなくお願いしますとなった。

シルバーを通じて得た知識、技能が今では私の大きな財産となっています。またゲートボール会員の送迎時、お年寄りとのチャットした会話のなかからは暮らしの知恵を授かっているような気がします。シルバー

シルバー人材センターで働きませんか

シルバー人材センターは定年退職等された方々が、今まで培った経験・知識・技能を生かして、雇用関係でない就業を行なう仕組みで、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に謳われている組織です。センターが公共・企業・家庭等から仕事の発注を受け、会員の皆さんの希望する仕事の内容により臨時的・短期的に就業していただくシステムとなっております。

阿智村、平谷村、根羽村に居住する概ね六十歳以上の健康で、臨時的・短期的な仕事を希望される方ならどなたでも加入することができます。現在百九十名程の方が加入して活動しています。今までの経歴や希望する仕事の内容などを記入した申込書に添えて、年会費二千円（十

に入会し少しは地域に貢献できているかなと実感しています。

私のモットーは『やれば出来るやらなきや出来ない』です。これからも挑戦の毎日ですが、現代の仙人めざし頑張ってみたいと考えています。

夫婦元気なうちは別れて暮らす！おかしな夫婦ですが、まーいいか！これが二十一世紀の仙人としよう。月以降は半額）を負担していただきます。

地域柄、屋外の草刈り作業等が多いですが、病院への送迎等の高齢者福祉の仕事、など多種多様な仕事を受けておりますので、多くの方が加入いただくようご案内いたします。



編集後記

下伊那西部シルバーも発足から二年が経過しました。徐々に名前も覚えてもらって仕事の依頼も増えてきて、前年に比べて二割余の増加で推移しています。

今年も、会員ひとり一人が仕事を通じてセールスマンとなっていたただくことを心掛けて、安全就業をお願いします。



全シ協の機関誌で全国のシルバー人材センターを結ぶ情報誌、12月号の「わが故郷じまん」に当センターが掲載されました。

桃源郷 花桃の里と美人の湯

阿智村は長野県の南部、長野・岐阜両県をまたぐ中央自動車道・恵那山トンネルの東側出口に位置します。年間七十万人が訪れる昼神温泉を有し、観光を基幹産業に、農業を基盤産業としていきます。平成十八年、二十一年に浪合村、清内路村と合併し、人口は七千人、面積は二一四km²の山村です。高齢化率三〇%と少子高齢化が進んできており、「住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくり」を理念に、村は住民活動の支援に力を入れています。



花桃の里と呼ばれる美しい春の風景。園原の里には約5000本の花桃が咲き乱れる。

昭和四十八年、国鉄中津川線のボーリング調査中に

美人の湯 昼神温泉

園原の里には、古代東山道の難所であった神坂峠があります。古くは万葉集、古事記、日本書紀、源氏物語、新古今和歌集などに地名や歌枕として取り上げられ、峠越えの日本武尊の伝説も残っています。旅人の苦難を見かねた伝教大師(最澄)はこの地に広拯院(無料宿泊所)を建てられ、周辺は比叡山と大変縁の深い地として「信濃比叡」の呼称が許されています。

花桃の里と信濃比叡
中央自動車道・恵那山トンネルを出たところは、花桃の里と呼ばれています。四月下旬から五月上旬には、約五千本の花桃が咲き乱れ、満開とゴールデンウィークが重なった昨年は、期間中園原の里へ約二十万人が訪れました。

下伊那西部 ● 長野県



南信州最大の温泉郷「昼神温泉郷」は、昭和48年に発見された新しい温泉地。

温泉が偶然発見されてから、阿知川の清流を挟む大小のホテル・旅館が建ち並ぶ温泉郷となりました。四季折々に表情を変える豊かな自然は、温泉と共に疲れた心をそっとときほぐしてくれます。泉質はアルカリ性の単純硫黄泉で、素肌美人の湯としても評判。毎朝、阿智村ならではの特産品の数々が所狭しと並べられた朝市が開催されています。下伊那西部地区とは、阿智村から国道153号線沿いの平谷村、根羽村地域の総称。平谷村では温泉施設「ひまわりの湯」を核とする道の駅、根羽村も「ネパールランド」を有し、三河湾に注ぐ矢作川の源流として、下流の愛知県と密接な

交流が図られています。温泉が偶然発見されてから、阿知川の清流を挟む大小のホテル・旅館が建ち並ぶ温泉郷となりました。四季折々に表情を変える豊かな自然は、温泉と共に疲れた心をそっとときほぐしてくれます。泉質はアルカリ性の単純硫黄泉で、素肌美人の湯としても評判。毎朝、阿智村ならではの特産品の数々が所狭しと並べられた朝市が開催されています。下伊那西部地区とは、阿智村から国道153号線沿いの平谷村、根羽村地域の総称。平谷村では温泉施設「ひまわりの湯」を核とする道の駅、根羽村も「ネパールランド」を有し、三河湾に注ぐ矢作川の源流として、下流の愛知県と密接な

現在、前年比一四〇%と着実に増加。きめ細かなサービスで地域に必要とされるセンターを目指しています。
(執筆) 阿智村観光協会事務局長 岡庭敬芳(社) 下伊那西部シルバー人材センター事務局長 原英行)

交流が図られています。当センターは平成二十一年十一月に、今まで任意団体であった阿智村および根羽村両センターと清内路村、平谷村の四村(当時)で広域化・法人化して発足し、満二年を迎えたばかりです。高齢化率は三五%、管内人口は九千人と高齢化・過疎化の進んでいる地域ですが、高齢者が地域の担い手として元気に活躍しています。現在の会員は百八十人、二十一年度の契約金額は二千三百五十万円、就業延人員は五千八百八十四人日と国庫補助対象基準をクリアしたところ。今年度は九月末

交流が図られています。当センターは平成二十一年十一月に、今まで任意団体であった阿智村および根羽村両センターと清内路村、平谷村の四村(当時)で広域化・法人化して発足し、満二年を迎えたばかりです。高齢化率は三五%、管内人口は九千人と高齢化・過疎化の進んでいる地域ですが、高齢者が地域の担い手として元気に活躍しています。現在の会員は百八十人、二十一年度の契約金額は二千三百五十万円、就業延人員は五千八百八十四人日と国庫補助対象基準をクリアしたところ。今年度は九月末

